

国道15号品川駅西口駅前広場 デザインコンセプト (概要版)

ミチウエ & スクエア & 品川

道路上空を活用した道・駅・まちをつなぐ駅前広場の整備を進め、
多様なモビリティのシームレスな乗換を可能とする人が主役の都市交通ターミナルを目指します。

○ ミチウエ

：階層的かつシームレスな交通結節点

- 道路【ミチ】の上部空間【ウエ】を活用
- 多様で階層的な交通モードをシームレスにつなぐ（図1）
- 段階的なモビリティネットワークの進化
- 平常時は「交通・交流」の拠点、災害時は「交通・防災」の拠点として機能（図2）



図1 様々な交通モードの接続・乗り換え拠点

○ スクエア

：屋根に守られた駅前空間

- 新しい「日本の顔」となるシンボリックな空間の創出（図3）
- 歩行者が安心して通行できる空間の創出
- 駅とまちをつなぐ主動線は、アンブレラフリーを兼ね備えた屋根のある快適な空間を創出
- サービス機能を備えた快適に過ごすことができる待合空間を創出
- 周辺開発と連携した賑わい空間を創出（図4）



図3 日本の玄関口の駅前空間（東京駅）



図4 駅まち空間における一体的な都市のイメージ

○ 品川

：品川らしさ＝時代のニーズに応える

- 江戸時代から、交通・情報・人や技術が集まり、時代のニーズに応じてきた「まちの履歴」を継承
- 武蔵野台地の地形や緑を活かした空間づくり
- 脱炭素社会の実現に向けてGX（グリーン・トランスフォーメーション）を推進（図5）
- MaaS、自動運転等の新技術の導入や人流・交通流のデータを活用した人が主役の都市交通ターミナル（図6）



図5 BRTなどの低炭素道路交通システム



図6 自動運転等の新技術



図2 災害時緊急輸送バス（呉駅）

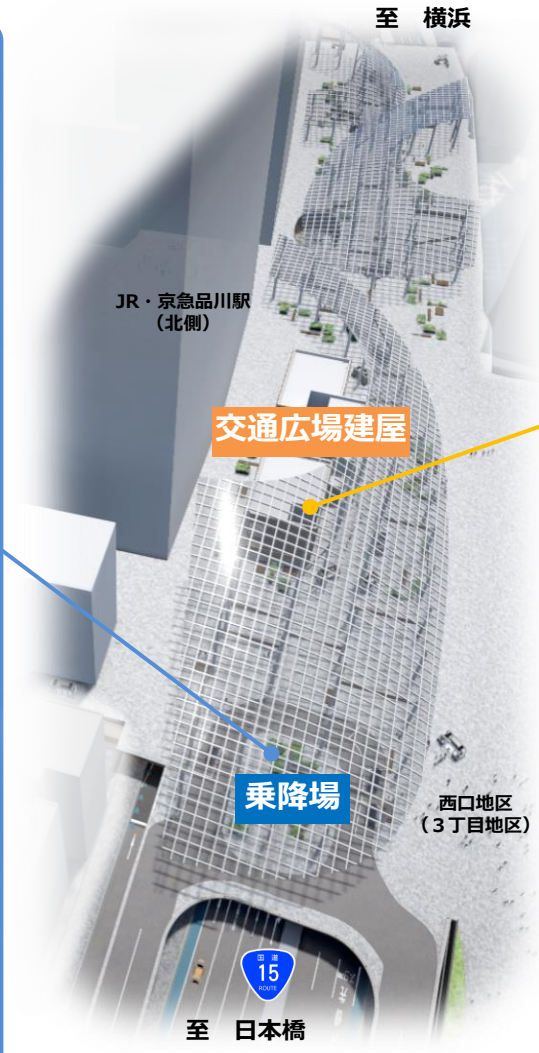
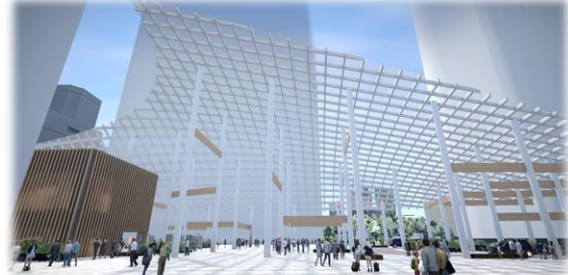
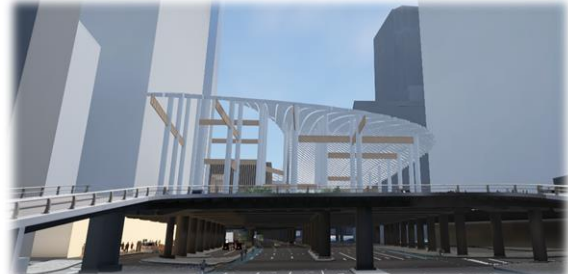
国道15号・品川駅西口駅前広場の将来の姿

道路上空を活用した道・駅・まちをつなぐ駅前広場の整備を進め、
多様なモビリティのシームレスな乗換を可能とする人が主役の都市交通ターミナルを目指します。
～ ミチウエ & スクエア & 品川 ～

ミチウエ

階層的かつシームレスな交通結節点

- 道路【ミチ】の上部空間【ウエ】を活用
- 周辺開発と一体的なデッキネットワークを構築
- 鉄道からスムーズな乗り換えが可能な乗降場



施設配置イメージ (デッキ階)

スクエア

屋根に守られた駅前空間

- 新しい「日本の顔」となるシンボリックな空間
- サービス機能を備えた待合空間 (交通広場建屋)



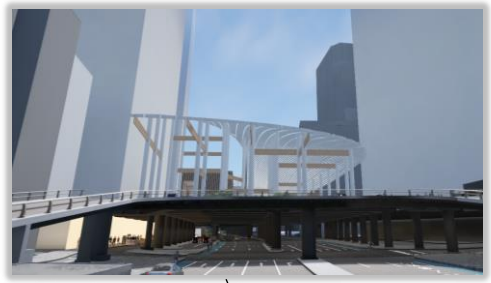
品川

品川らしさ = 時代のニーズに応える

- 時代のニーズに応えてきた「まちの履歴」を継承
- 脱炭素社会の実現に向けてGXを推進
- 新技術を導入した人が主役の都市交通ターミナル

施設配置イメージ

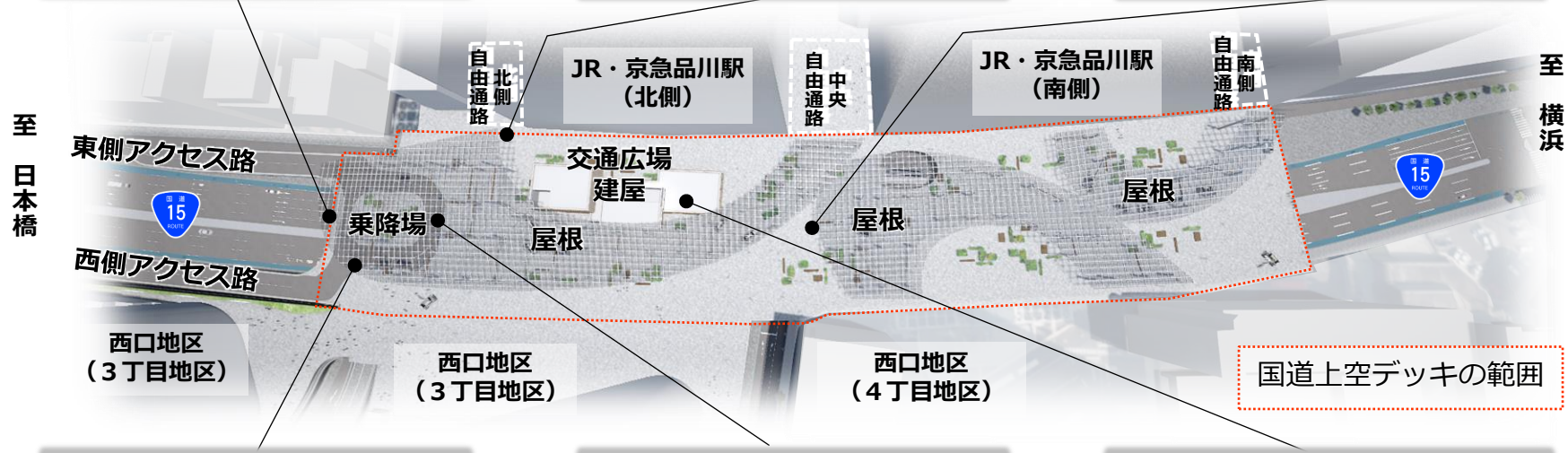
道路〔ミチ〕の上部空間〔ウエ〕を活用



屋根のある駅とまちをつなぐ主動線



歩行者が安心して通行できる空間



新しい「日本の顔」となる
シンボリックな空間



鉄道からスムーズに乗り換え可能な乗降場



サービス機能を備えた待合空間
(交通広場建屋)

施設配置イメージ (デッキ階)

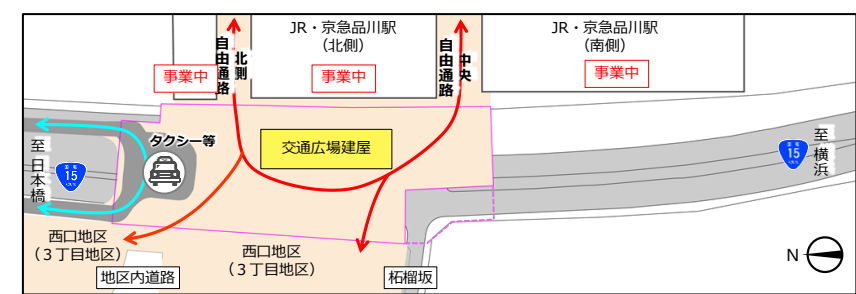
※必要となる機能を配置したイメージであり、整備内容を決定したものではありません
※今後の検討及び関係機関との協議調整により変更する場合があります

段階的なモビリティネットワークの構築 – デッキ階 –

- ・国道上空デッキ（北側）供用段階は、歩行者等のネットワークが構築されます。
- ・デッキネットワーク概成段階は、新たなモビリティ（乗合型）の高輪ゲートウェイ駅方面や北品川方面へのネットワークが構築されます。
- ・品川駅西口関連開発完了段階は、歩行者等や新たなモビリティ（乗合型）のモビリティネットワークが完成します。

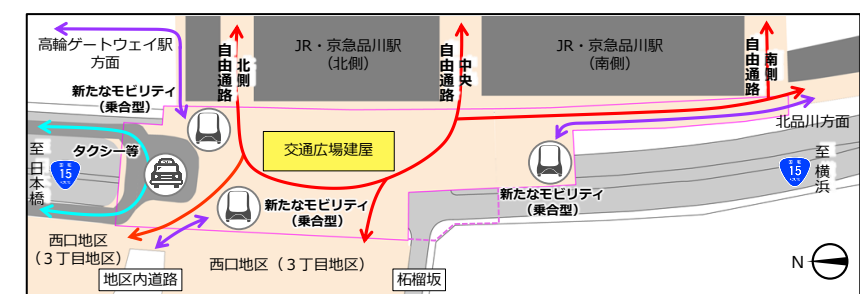
① 国道上空デッキ（北側）供用段階（2020年代後半～）

- ・新たなモビリティ（歩行支援）は、高齢者、体の不自由な方などの利用を想定
- ・国道上空デッキ上にタクシー等の乗降場を配置



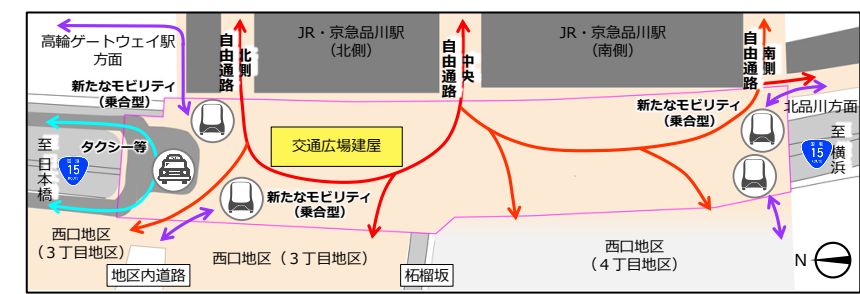
② デッキネットワーク概成段階（2030年代後半～）

- ・高輪ゲートウェイ駅方面や北品川方面のモビリティネットワークが構築
- ・新たなモビリティ（乗合型）により高輪ゲートウェイ駅方面や北品川方面への移動を支援



③ 品川駅西口関連開発完了段階

- ・品川駅西口のモビリティネットワークが完成



段階的なモビリティネットワーク（デッキ階）

国道上空デッキの範囲

タクシー等の動線

歩行者等（歩行者と新たなモビリティ（歩行支援））の動線

新たなモビリティ（乗合型）の動線

※必要となる機能を配置したイメージであり、整備内容を決定したものではありません
※西口地区（4丁目地区）については、今後の開発計画とあわせて調整が必要
※モビリティ動線、乗降場、歩行者動線等の具体化にあたっては開発計画との調整が必要
※今後の検討及び関係機関との協議調整により変更する場合があります

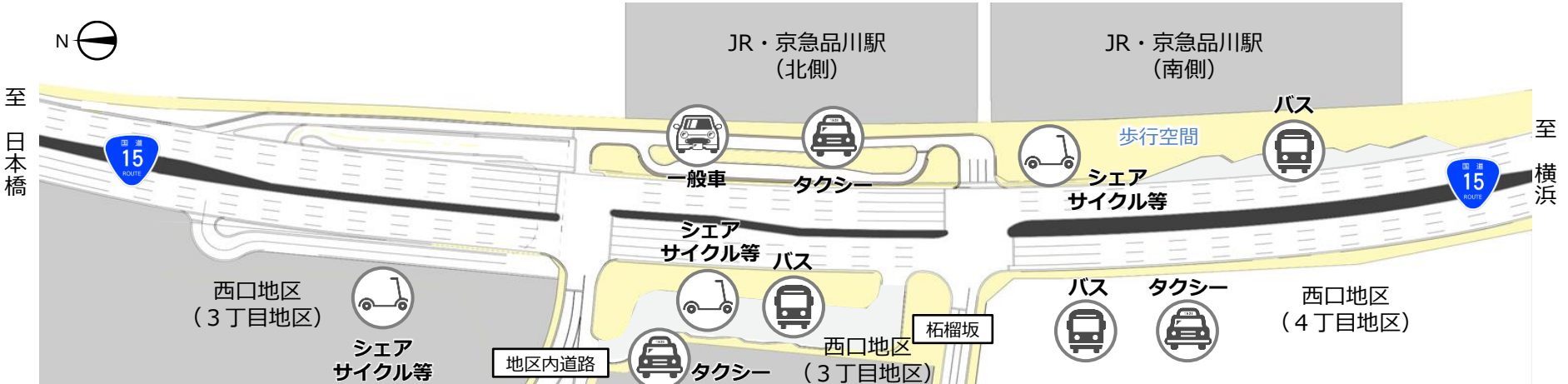
4

段階的なモビリティネットワークの構築 – 地上階 –

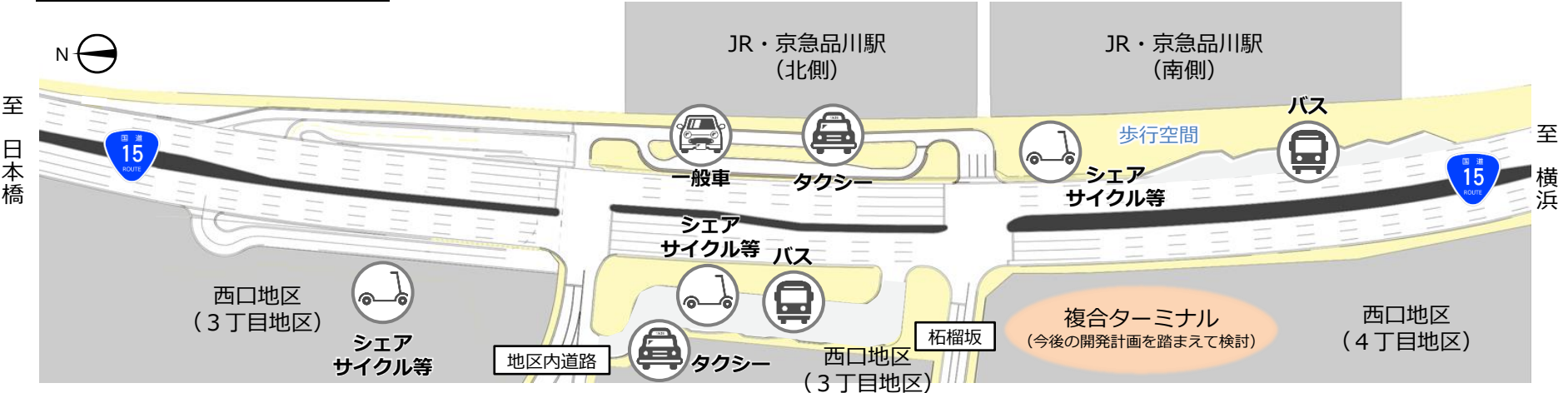
- 利用者の利便性を考慮し、タクシー乗降場、バス乗降場、一般車乗降場、シェアサイクル等の乗降場を配置します。
- 交通モードは周辺開発と連携して配置することを想定しています。

① 国道上空デッキ（北側）供用段階（2020年代後半～）

② デッキネットワーク概成段階（2030年代後半～）



③ 品川駅西口関連開発完了段階



モビリティネットワーク（地上階）

※必要となる機能を配置したイメージであり、整備内容を決定したものではありません
※モビリティ動線、乗降場、歩行者動線等の具体化にあたっては開発計画との調整が必要
※今後の検討及び関係機関との協議調整により変更する場合があります